



2021年11月9日

各位

会社名 株式会社ウィルグループ
代表者名 代表取締役社長 大原 茂
(コード番号: 6089)
問合せ先 執行役員 高山 智史
管理本部長
(TEL. 03-6859-8880)

2022年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異及び 通期連結業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ

2021年8月6日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日~2021年9月30日)の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)業績予想及び2022年3月期配当予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異

	売上収益	営業利益	税引前利益	四半期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的1株当たり四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	63,500	2,000	1,950	1,360	1,180	52.97
実績数値 (B)	63,913	2,685	2,716	1,996	1,698	76.18
増減額 (B-A)	+413	+685	+766	+636	+518	
増減率 (%)	+0.7%	+34.3%	+39.3%	+46.8%	+44.0%	
(参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	58,177	2,221	2,085	1,522	1,304	58.70

2. 差異の理由

売上収益につきましては、オーストラリア、シンガポールにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大により、都市封鎖等の措置があったものの、第1四半期に引き続き人材需要は、堅調に推移したことから、人材紹介、人材派遣が業績予想を上回りました。

営業利益につきましては、人材紹介売上が増加し、売上総利益が伸長したことに加え、販管費及び一般管理費を一部第3四半期以降に繰越したため、業績予想を上回りました。

税引前利益、四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、営業利益が業績予想を上回ったことによって、業績予想を上回りました。

3. 2022年3月期通期連結業績予想の修正

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	127,000	4,050	3,920	2,550	2,280	102.35
今回修正予想 (B)	130,000	4,500	4,410	2,970	2,510	112.55
増減額 (B-A)	+3,000	+450	+490	+420	+230	
増減率 (%)	+2.4%	+11.1%	+12.5%	+16.5%	+10.1%	
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	118,249	4,030	3,788	2,678	2,363	106.35

4. 業績予想の修正理由

第2四半期累計期間の業績を踏まえ、通期業績予想を修正します。

第3四半期以降の業績については、第2四半期累計期間で計画していた販管費及び一般管理費の繰越し及び足元の事業の状況を織込んでいます。

5. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年5月12日発表)		25円00銭	25円00銭
今回修正予想		34円00銭	34円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	0円00銭	24円00銭	24円00銭

6. 配当予想の修正理由

株主還元目標は、期首業績予想に対する総還元性向:30%を目安としていますが、以下の2点を考慮し、配当予想を上方修正 (当初予想+9円) します。これにより、総還元性向は、30.7%となります。

- ・通期業績予想の上方修正。
- ・第2四半期末において、親会社所有者帰属持分比率が中期経営計画での目標値:20% (実績:22.1%) を上回って進捗。

*総還元性向:親会社の所有者に帰属する当期利益に対する配当と自己株式取得合計額の比率。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上